

## 在宅医療・介護連携の推進

### 1 在宅医療・介護連携に関する相談支援

市民や地域の医療・介護関係者の相談支援窓口となる函館市医療・介護連携支援センター（人員配置：看護師1，医療ソーシャルワーカー2，事務1）の運営を函館市医師会に業務委託し，平成29年4月のオープンに向け準備行為を開始した。

（センター業務：①在宅医療・介護連携に関する相談支援 ②切れ目のない医療・介護の提供体制の構築 ③地域の医療・介護の資源の把握 ④医療・介護関係者の情報共有の支援 ⑤医療・介護関係者の研修 ⑥市民への普及啓発）

### 2 医療・介護連携推進協議会の協議動向（部会の設置）

医療・介護関係者の意見や実態を踏まえ検討する必要がある連携の仕組みやルールについて，協議会のもとに部会を設置して検討することとし，3作業部会（連携ルール，情報共有ツール，多職種連携研修）を設置し，連携ルール作業部会については2分科会（退院支援，急変時対応）を設置した。

### 3 切れ目のない医療と介護の提供体制の構築推進

医療と介護の連携の局面に関するルールについて協議するため，退院支援分科会および急変時対応分科会を設置した。

退院支援分科会においては，退院支援に関する標準的なルールブックとなる「はこだて入退院支援連携ガイド」を作成し，急変時対応分科会においては，高齢者の急変時対応の基本的なルールとその運用について関係者間で確認した。

### 4 医療・介護関係者の情報共有の支援

医療・介護関係者間において，必要な情報を速やかに共有することができるよう，患者・利用者の情報を相互に記録し参照できる情報共有ツールの様式を作成した。

また，そのツールの全市的な運用に向け，情報共有ツール作業部会において協議を進めている。

### 5 医療・介護関係者の研修

多職種連携に効果的な研修のあり方を協議するため，多職種連携研修作業部会を設置して具体的な研修企画を立案した。平成29年2月に開催した「第2回函館市医療・介護連携多職種研修会」では約270名の参加を得た。

### 6 地域の医療・介護の資源把握

地域の在宅医療・介護資源の一覧表形式のリストをマップ化（在宅医療・介護連携マップ）し，平成29年2月にインターネットのウェブサイト上に公開した。